

計画全体の 目標	重点的取組に関する推進施策の事業目標				進捗状況
	重点的取組	推進施策	取組の現状（平成 26 年度）	事業目標（令和 7 年度）	取組の実績・現状（令和 6 年度）
緑被率	（１） 人々の感性を豊かにする みどりづくり	2-2- ⑦ いきものの生息できる環境づくり	・自然環境の創出・保全に関わる公園活動登録団体数 11 団体 ・サンクチュアリの設置 2 箇所	・公園等における在来種の植栽の推進 ・野鳥の年間確認種数 50 種を維持し 70 種を目指す ・タンポポ、ツバメ等の指標在来生物種の分布率 50%	・野鳥の年間確認種数 42 種 ・タンポポ、ツバメ等の指標在来生物種の分布率 48.8% ・サンクチュアリの設置 2 箇所（すずめのお宿緑地公園、中目黒しぜんとなかよし公園） ・目黒区立油面公園リノベーション工事、向原東みんなの街かど公園新設工事、洗足北共栄ひろば新設工事で在来種を用いた植栽を実施
		3-1- ① 住宅地のみどりの保全	・樹木等の保全協議 187 件、1,504 本	・PR の充実	・樹木等の保全協議 56 件、246 本
		3-1- ④ 生物多様性保全林の指定	・制度活用を検討 ・目黒区生物多様性地域戦略の策定 ・東京都「江戸のみどり復活事業」の実施 ・特定緑地等の生物調査	・生物多様性保全林の指定 10 件	・生物多様性保全林の指定 3 件【菅刈公園（平成 28 年度）、駒場野公園（平成 29 年度）、碑文谷公園（令和 5 年度）中根公園（令和 8 年度予定）】 ・碑文谷公園管理運営計画書（人・いきもの共生プラン～碑文谷の池・森を未来に～）の作成（令和 5 年度） ・中根公園での小学校との協働による生物調査
		4-1- ⑤ 屋上・壁面緑化の推進	・みどりのまちなみ助成（屋上・壁面）162 件、3,668.41㎡ ・目黒十五庭における屋上緑化の普及、啓発 1,526 人	・みどりのまちなみ助成（屋上・壁面）10,000㎡	・みどりのまちなみ助成（屋上緑化）17.43㎡（延べ 5,351.55㎡） ・みどりのまちなみ助成（壁面緑化）0㎡（延べ 544.76㎡） ・目黒十五庭における屋上緑化の普及・啓発 712 人（小学校 11 校）
		4-1- ⑥ 接道部緑化の推進	・みどりのまちなみ助成（接道部）289 件、2,498.43m	・みどりのまちなみ助成（接道部）2,800m	・みどりのまちなみ助成（接道部）135.33m（延べ 11,587.54m）
		4-2- ① 民有地の緑化の推進	・緑化計画の認定 1,537 件、159,351㎡ ・緑化重点地区の指定	・緑化計画の認定 177,050㎡	・緑化計画の認定 152 件、13,891.20㎡（延べ 792,824.45㎡）
1人 当たり 公園面積	（２） みどりが彩るまちづくり	2-1- ① 魅力あるみどりのまちなみ形成	・景観法の活用を検討（景観重要樹木の指定） ・みどりの景観調査実施	・みどりの景観ガイドブック（仮称）の作成及び普及啓発	・みどりの景観ガイドブックを活用して緑化指導
		2-1- ② みどりの観光資源の充実と発信	—	・観光資源となるみどりや公園等の情報を収集、PR の実施（参考指標）駒場公園和館来客数 年間 50,000 人	・駒場公園和館利用者総数 29,365 人(令和 6 年 11 月 11 日から R7 年 1 月 10 日まで工事の為閉館) ・都主催「文化財ウィーク」に合わせ駒場和館 2 階の特別公開を実施
		2-2- ① 子どもの成長の場としてのみどりの活用	—	・子どもを対象とした自然体験教室の開催 ・公園等の改良事業 30 箇所	・花とみどりの学習館：連続プログラム 2 コース全 19 回 ・こども動物広場：小動物とのふれあい 50,656 人、引き馬 18,511 人、♫教室（個人）4,615 人、♫教室（団体）3,143 人 ・公園リノベーション工事（油面公園、呑川本流緑道）や公園新設工事（向原東みんなの街かど公園）において、近隣保育施設にアンケート調査を実施し、調査結果を整備内容に反映
		2-2- ② 心身の健康をはぐくむ公園づくり	—	・公園等における健康器具の設置にあわせた健康コースの設置 ・健康器具の活用プログラムの実施 ・公園等施設のバリアフリー化の実施 30 公園	・目黒区実施計画に健康遊具の設置及びバリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した施設整備を位置づけ ・油面公園リノベーション工事（健康遊具設置：ぶらぶらストレッチ、施設のバリアフリー化：園路・水飲み・トイレ） ・遊具リノベーション工事（健康遊具設置：中央緑地公園・上体伸ばし／なべころ坂緑地公園・ふみいたストレッチ） ・呑川本流緑道リノベーション工事（バリアフリー化：出入口・園路）
		2-2- ⑤ 公園活用提案制度の検討	—	・公園活用提案制度創設に向けた課題整理・検討	・菅刈公園「菅刈椎塾」 自然体験活動の開催 年 12 回
		3-1- ③ 社寺林、屋敷林の保全支援	・保存樹林の指定 26 件、85,695.63㎡	・社寺林・屋敷林の普及啓発 ・保存樹林の指定の推進 30 件	・支援を継続して実施
		3-1- ⑤ サクラの保全	—	・サクラ再生計画の策定及び計画に基づくサクラの保護、植替え ・さくらマップ（仮称）の作成	・伐採工事 街路樹 8 本、緑道 5 本 ・抜根工事 街路樹 10 本、緑道 2 本、 ・新植 街路樹 5 本、緑道 2 本 ・樹勢回復 街路樹 314 本、公園・児童遊園 16 本（この他に維持管理で伐採 19 本、抜根 0 本、新植 1 本） ・令和 4 年度までにサクラ再生実行計画を作成済み（全 13 計画）
		3-2- ① 農地の保全・活用	・生産緑地地区 17 箇所、2.6ha	・生産緑地の保全策の検討	・生産緑地地区 12 箇所、1.88ha ・都区市町村合同検討委員会にて「緑確保の総合的な方針」の改定 確保の水準として「特定生産緑地」を新設、生産緑地を保全すべき農地として明確化（令和 2 年度）
		5-1- ⑤ 公園ストックの再編	・16 箇所（うち緑道が 5 箇所）	・公園等の改良 30 箇所 ・公園等の整備 約 3.6ha	・公園リノベーション工事（公園等の改良）2 箇所 油面公園、呑川本流緑道
		5-2- ② 民間によるみどりのオープンスペースの創出	—	・制度設計の検討	—
	（３） みどりを活用した コミュニティづくり	1-1- ① 情報の共有と発信	・自然クラブニュース、花とみどりの学習館だより 毎月 1 回発行 ・自然通信員だより 年 3 回、グリーンデータブック 年 1 回発行	・活動等の情報を発信するニュースレターの種類の充実と SNS 等の新たな情報発信方法の活用	・自然クラブニュース 毎月 1 回発行 ・花とみどりの学習館だより 年 4 回発行 ・自然通信員だより 年 2 回発行 ・めぐろ区報（自然図鑑）年 3 回掲載 ・グリーンデータブック 年 1 回発行 ・目黒デジタルアーカイブ 100 にコンテンツ「みどりの散歩道」と「目黒の桜」を追加（令和 4 年度）、「目黒のいきもの」を追加（令和 5 年度）

		1-1-⑤ 自主的団体間の連携の推進	—	・いきもの住民会議開催年 1 回 ・活動紹介のパネル展開催年 1 回 ・講習会等の機会を活用した団体間の交流会の開催 年間 20 団体参加 ・団体の活動情報誌の発行	・いきもの住民会議 1 回開催 ・活動紹介のパネル展開催 ・グリーンクラブ講習会 1 回開催 ・ボランティア（公園活動登録団体）講習会 1 回開催
		1-2-① グリーンクラブの活動推進	・グリーンクラブ登録数 90 団体、975 人	・グリーンクラブ等公園等で活動を行う登録団体 120 団体	・グリーンクラブ登録数 96 団体、999 人
		1-2-② 区民等による公園等の活性化	・公園活動登録団体数 17 団体、536 人	同上	・公園活動登録団体数 20 団体、512 人 ・桜守活動体験会を 3 回実施 参加者 30 人（令和 4 年度） ・桜守ボランティア養成講座を 6 回実施 参加者 26 人（令和 6 年度） ・目黒のサクラ保全事業報告会で桜守活動体験を実施 参加者 16 人
		1-2-④ 事業者等との連携促進	・商店街と連携したイベント実施 ・大学との共催によるみどりの普及・啓発	・既存事業や公園等の管理業務へ事業者等が参画する仕組みの検討	—
		5-1-⑥ 公園施設の長寿命化	—	・長寿命化計画の見直し（平成 30 年度） ・公園施設の更新 220 施設	・公園リノベーション工事（公園施設の更新・新設） 4 施設